

南アフリカ為替週報

2023年11月2日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(10月26日～11月1日)

USD/ZAR: 18.5107～19.271

ZAR/JPY: 7.80～8.15(参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は対ドルで反発。10月中旬に節目の5.0%を突破していた米長期金利が10月末から11月はじめにかけて4.7%台まで大きく低下したことや、11月1日に南アフリカ財務省が公表した中期財政計画(MTBPS)の財政赤字の想定は市場が危惧したほどには悪化しなかったことが要因として挙げられる。対円では大幅上昇。10月末の日銀会合でYCCが再修正された後にドル高・円安が進行した。

もともと、計画停電の頻発などに伴う景気の減速や、輸出の落ち込みなどを受けて、今年度の税収は2023年2月に予算案が公表された当時と比べて大幅に落ち込む見込みであることを、ゴドンクアナ財務相はここ数か月の間、指摘していた。それに加え、南アフリカでは2024年に総選挙を控えることから、財政支出の抑制は難しいという見方が強まっていた。

中期財政計画で示された2023/24年度(南アフリカの予算年度は4月～翌年3月)の財政赤字の予想は対GDP比4.9%と2月時点の同4.0%から拡大しているものの、ブルームバーグが10月下旬に行ったエコノミスト予想(中央値)では同5.3%まで膨らむという見方となっていた。インフラ整備事業などに使われる地方自治体への条件付き交付金など支出の抑制に加え、付加価値税の引き上げなどの増税策が打ち出されている。一方、支出項目で目立った部分としては、公務員の給与の7.5%引き上げや、新型コロナ感染拡大時に導入された低所得者向けの補助金をさらに1年間延長する措置が挙げられる。

南アフリカの一般政府総債務対GDP比率は今後も拡大が続く見通しであり、2022/23年度の対GDP比70.9%から2025/26年度には同77.7%まで債務が膨らむ予想となっている。2023年2月に公表された予算案の時点では、同73.6%でピークをつける見通しとなっていた。

市場は、ランド高、国債利回り低下(価格は上昇)で反応している。決して同国の財政が改善に向かう兆しが見えているわけではないが、「思ったよりも悪くない」という受け止めが広がったものと見られる。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
10/31	12:00	貿易収支(ZAR)	9月	8.0b	13.1b	12.6b
11/1	09:00	製造業PMI	10月	47.3	45.4	45.2

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(11月2日～11月8日)

USD/ZAR: 18.20～19.50

ZAR/JPY: 7.60～8.40

今後1週間のランド相場は引き続き、外部環境の動向に敏感な展開が続くだろう。中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇リスク、米金利の動向、さらに中国の景気対策への期待、と南アを取り巻く環境が大きく変動する可能性があるためだ。もっとも、このところは相関係数を計算すると圧倒的に米金利の南アランドへの影響が大きいという結果となる。11月1日の米FOMCは2会合連続の据え置きとなったが、10月の米長期金利の急騰に伴う金融環境の一段の引き締まりのリスクをFRBが意識している、という受け止め方が目立つ。しばらくはこうした「米金利上昇の打ち止め論」に代表的な高金利通貨の1つである南アランドが恩恵を受ける可能性がある。もっとも、経常赤字と財政赤字の双子の赤字や、低迷する経済成長率など、南アの経済ファンダメンタルズには脆さがあり、外部環境の悪化時にはランドには再び下落圧力がかかりやすい点には注意が必要となろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

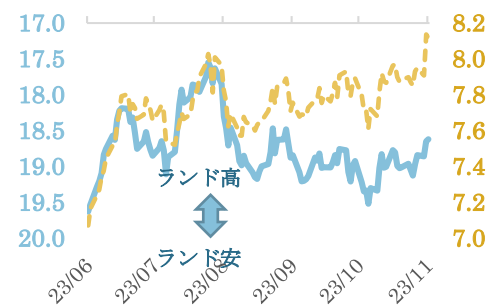
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
11/2	11:00	電力消費	9月			-6.5%
	11:00	電力生産	9月			-6.4%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

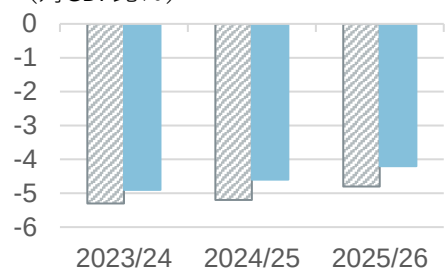
点線: 対円レート(右軸)



財政収支

ブルームバーグ集計エコノミスト予想中央値(斜線網掛け)と中期財政計画との比較

(対GDP比%)

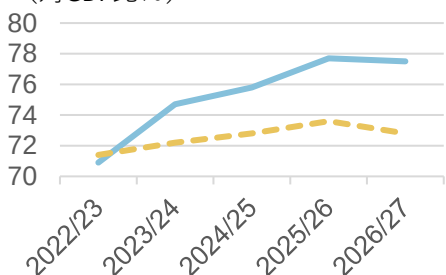


一般政府総債務予測

実線: 2023年10月中期財政計画

点線: 2023年2月予算

(対GDP比%)



(資料: SARB、南アフリカ統計局、ブルームバーグ)

<文責>

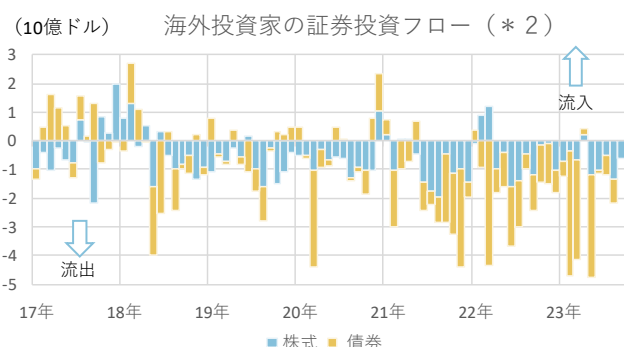
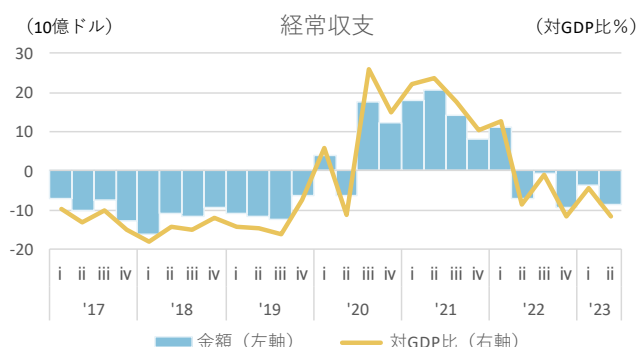
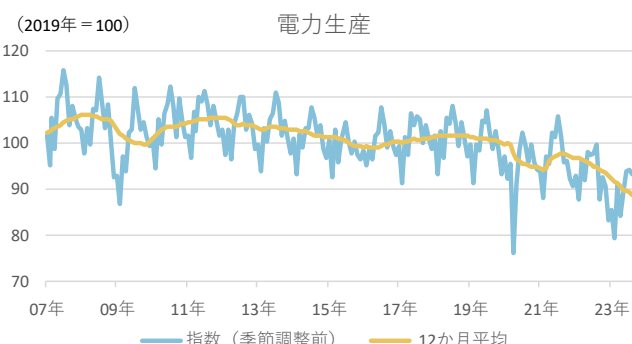
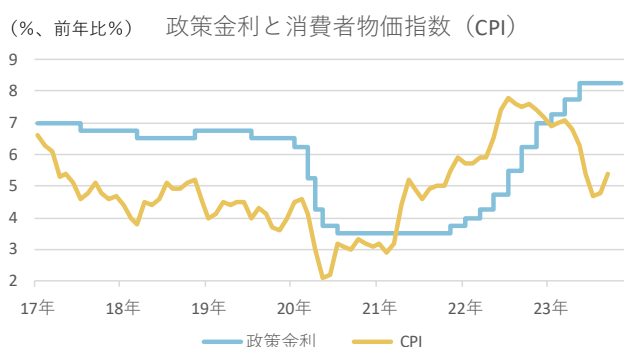
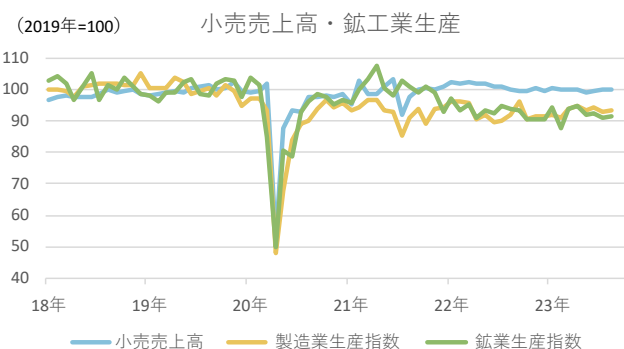
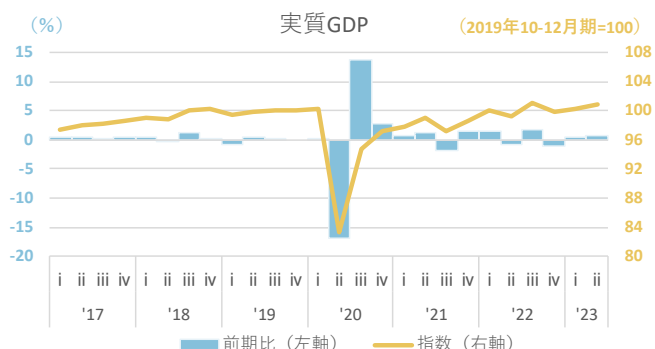
欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

<主要経済指標の推移>



- * 1：BERサーベイは南アフリカ経済調査局（Bureau for Economic Research）による四半期ごとの調査。
経済アナリストや企業などが調査対象となっている。
ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。
- * 2：月次データ。ただし、2023年10月は1日から30日までの累計値。

（資料：南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行）

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。